

科目名	専門演習Ⅱ SeminarⅡ						
科目担当者	矢鋪 渉 YASHIKI Wataru						
単位数	4	配当年次	3 年	授業形態	演習	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分] 他学部他学科履修	法学部・法律学科 [専門教育科目 演習] 他学部他学科履修×					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	① 民法（債権法）および不動産関係法の知識を身につける。 ② テキストの各分野を約 10 頁ごとに各々分担して、解説をおこなう。 ③ 美術館を見学し、美術作品を鑑賞。作成時の時代背景や作品の構成などについても鑑賞する。						
授業の到達目標	① 民法および不動産関連法を宅建士受験レベルの理解力を身につける。 ② 学習した単元については他人に説明できるレベルの理解力を身につけることをめざす。 ③ 過去問題の関係図を描き、論点を整理することができる。						
業計画・内容	1	弁済・相殺			16	都市計画法 第 1 章 全体像	
	2	売買契約			17	都市計画法 第 2 章 開発許可制度	
	3	賃貸借契約			18	建築基準法 総則、単体規定	
	4	委任契約・請負契約			19	建築基準法 集団規定	
	5	不法行為			20	土地区画整理法	
	6	相続 法定相続、欠格、廃除、遺産分割			21	農地法	
	7	遺言、配偶者居住権、遺留分			22	国土利用計画法	
	8	借地借家法：①借地関係			23	地方税（不動産取得税、固定資産税）	
	9	借地借家法：②借家関係			24	国税（印紙税、登録免許税、贈与税）	
	10	建物の区分所有法：権利形態、管理組合、規約			25	国税（諸地区税 譲渡所得）	
	11	建物の区分所有法：集会、復旧と建替え			26	地価公示法・不動産の鑑定評価	
	12	不動産登記法：登記手続、所有権保存			27	景品表示法	
	13	同上：仮登記、登記抹消、区分建物の登記			28	土地（等高線、盛土。切土、断層、がけ崩れ）	
	14	まとめ&質疑応答			29	建物の構造	
	15	まとめ&質疑応答			30	まとめ	
	業外学修 (事前学修)	① 予定する単元を読み込む。音読も並行しておこなう（1 時間）。					
授業外学修 (事後学修)	① 発表および質疑応答をおこなった単元について、再度読込む。また、関連条文の確認をおこなう。（2 時間） ② 課題の関係図を描き、解答する（1 時間）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率		到達目標との対応
	① 分担した単元の発表内容の充実度。質疑応答の態度 ② 単元発表者に対する質問の内容、態度				70% 30%		①② ②③
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	日建学院「どこでも学ぶ宅建士基本テキスト」2025 年、ポケット六法（e-Gov 利用可）						
参考文献							
その他	ゼミでは、参加者が意見を出し合って、お互いの違いを確認することが大切です。事前に資料を読んでおくと、よりはっきりと議論に参加できます。						